# 「東京湾大感謝祭」アンケート 速報版

2014.01.17

好評な東京湾大感謝祭

「東京湾を見て味わう」プログラムが高結果

#### 東京湾再生官民連携フォーラム事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-1-10 第 2 虎の門電気ビルディング 4 階 (一般財団法人)みなと総合研究財団内 TEL: 03-5408-8298 E-mail: office@tbsaisei.com

2013 年 11 月 23 日(土)、東京湾の再生に向けた活動を行う「東京湾再生官民連携フォーラム」が設立され、これに合わせて、東京都江東区・青海のタイム 2 4 ビル内で東京湾の海の恵みに感謝するイベント「東京湾大感謝祭」が開催された。イベント会場の受付でのアンケートを実施、来場者の方々が、東京湾をどのようにとらえているのかなど、今の東京湾に対する思いをご紹介する。

#### 【アンケート調査概要】

・調査名 : 東京湾大感謝祭 来場者アンケート

・調査方法:イベント会場内 受付配布

·調查対象: 東京湾大感謝祭来場者

·調査期間: 2013 年 11 月 23 日

・有効回答数:146件 回答者の属性は最後のページに示す。

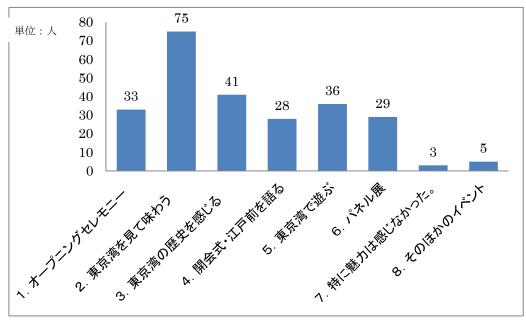
内容:感謝祭参加理由や東京湾へのイメージなど

調査結果の問合せ先:東京湾再生官民フォーラム事務局 電話:03-5408-8298

## 1. 期待のイベントプログラム 好評な"東京湾を見て味わう"

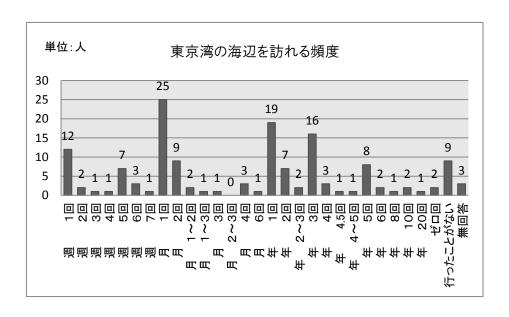
■大感謝祭では江戸前の味の試食や東京湾で獲れた魚の展示を行った。親子の会話の中に子供たちの喜ぶ、「この魚は何」といった会話が飛び交いました。プログラムを事前に見てもらい、その期待が寄せられました。東京湾を見て味わうが 75 通と多く、また、子供たちにも参加ができたオープニングセレモニーも子供たちに好評のようです。

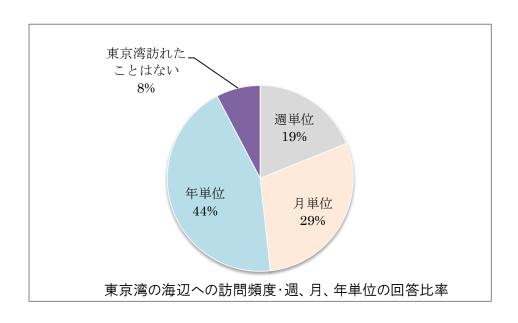
(複数回答)



### 2. 東京湾の海辺を訪れる頻度は、月 1回がトップ

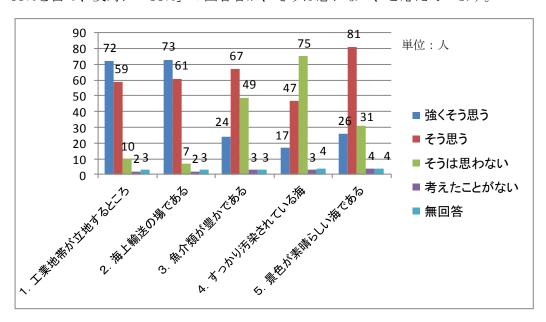
■東京湾を訪れる頻度を年、月、週の単位でたずねたところ、月1回が25人とトップで次いで年1回、年3回となりました。接触頻度が少ないことが気がかりです。また、それぞれの回答内でも、年で応えた比率が、全体の44%を占め、月で応えた29%を上回るなど、東京湾の海辺への頻度が少ないことがうかがえる結果となりました。訪問頻度を上げる魅力ある東京湾が期待されます。





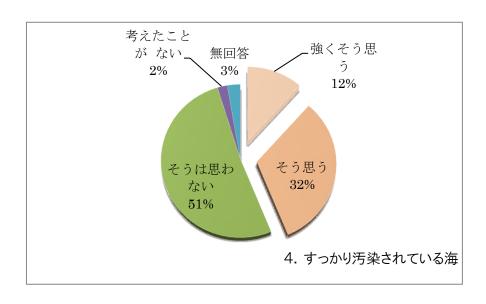
- 3. 東京湾は、「工業地帯が立地するところ」のイメージが強い、また 65%の人が東京湾は、「魚介類が豊かである」イメージを持つ。
- ■自分が抱く東京湾のイメージを該当する中から選択してもらいました。中でも、工業地帯が立地するところの印象がどの項目よりも強い印象を与えています。

逆に、"魚介類が豊かである"いうイメージに対しては、「強くそう思う+そう思う」で、 65%を占め、反対に「35%」の回答者が、そうは思わない、と応えています。



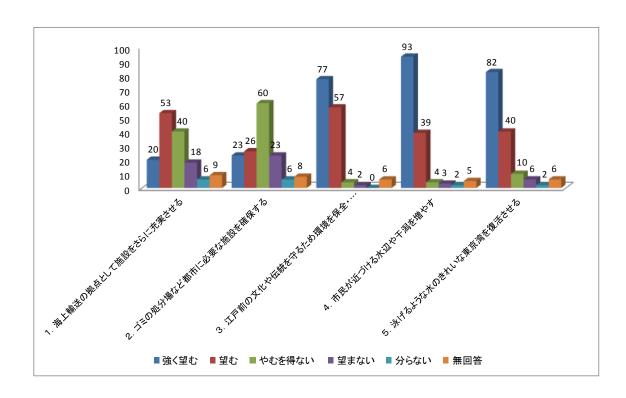
#### 3-1.二分する東京湾の汚染イメージ

■イメージが拮抗しているのが、東京湾に関する海の汚染で、「すっかり汚染されている海」というイメージに「強くそう思う+そう思う」が 44%、「そう思わない」と回答した方が 51%で、かろうじて半数を超えています。

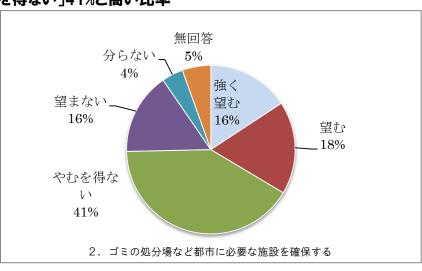


## 4. 税金の使われ方の希望、 第1位は「市民が近づける水辺や干潟を増やす」

■「あなたが支払った税(消費税含む)が東京湾のために使われるとしたら、どんなことに使われることを望むか」の設問に対しては、「強く望む」の第1位は、「市民が近づける水辺や干潟を増やす」、第2位が「泳げるような水のきれいな東京湾を復活させる」、さらに3位には「江戸前の文化や伝統を守るための環境を保全・再生する」が挙げられました。



#### 4-1.ゴミ施設は「やむを得ない」41%と高い比率



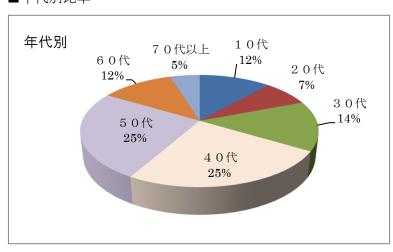
題がほかの施設とは、異なることが浮きぼりとなりました。

## 5. 回答者の属性

■回答者属性(会場内でのアンケート回収)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	7	8	14	25	29		5	101
女性	10	3	7	11	8	4	2	45
	17	11	21	36	37	17	7	146
性別不明	1							1
性別年代不明	10							10

#### ■年代別比率



住まい別の比率 (イベント訪問者の住まい)

